

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 1 月 18 日作成)

小委員会名	文化施設小委員会		主 査 名：上西 明 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (施設計画運営委員会)		委員長名：布野修司 主 査 名：大原一興
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2010 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・文化施設としての劇場・ホール、美術館・博物館について研究する。 ・劇場・ホールに関する知見を市民、行政、専門家に伝える。 ・美術館・博物館の研究を整理・紹介する。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：あり。		
	委員：上西明 (上西建築都市設計事務所)、坂口大洋 (東北大学工学部)、大月淳 (名古屋大学)、井口直己 (井口直己建築設計事務所)、浦部智義 (日本大学工学部)、大原一興 (横浜国立大学)、勝又英明 (武蔵工業大学工学部)、川口和英 (武蔵工業大学新学部開設準備室)、小林徹也 (シアターワークショップ)、佐藤慎也 (日本大学理工学部)、永井久夫 (竹中工務店)、長谷川祥久 (香山壽夫建築研究所)、早川典子 (東京都江戸東京博物館)、棟尾聡 (棟尾建築設計工房) 森田孝夫 (京都工芸繊維大学工学部) WG 委員：古橋祐 (昭和音楽大学)、青池佳子 (フリーランス)、上田泰孝 (間組)、小川清則 (鹿島建設)、谷川大輔 (東京理科大学)、戸田直人 (シアターワークショップ)、永井聡子 (静岡文化芸術大学)、林秀樹 (ACT 環境計画)		
設置 WG (WG 名：目的)	「劇場・ホールWG」 「劇場・ホールなどの公共文化施設の計画と運営」について、高齢・少子社会における新しい社会状況の中での劇場・ホールのあり方を体系づけていくための調査研究を行う。		
2009 年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無：準備中 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 / WG：7 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	<ul style="list-style-type: none"> ・「多目的ホール舞台設計資料」(改訂版)：発刊に向けてワーキング中 ・「劇場空間への誘い」：発刊に向けて原稿執筆が終わり、とりまとめ中
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	(名称) シンポジウム「都市の遺産としての文化施設」 参加者数 83 名 (資料名) 同上
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	当委員会は、計画委員会の中で文化施設を研究対象としています。委員は、大学、研究所の建築計画、アートマネジメント、音響等の研究者、設計事務所、建設会社の設計者、劇場コンサルタントなど、多様なメンバーからなり、そのさまざまな立脚点からお互いに知見を深め、社会に対する活動を行なっています。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	上記シンポジウムを、東京文化会館にて見学会と共に行なった。学会員外の参加者も多く参加し (36 名)、建築学会の研究の成果を、社会に対して発信することができたと考えている。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文化施設としての劇場・ホールの今日的なあり方について見直しを行ない、その成果を、広く公開していきたい。 2. 公共施設の管理運営に実際に携わる方の委員を増やしたい。 3. 文化施設に興味のある意欲的な方を委員として公募したい。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。